

令和7年度 第2回愛西市地域ケア推進会議 会議録（概要）

会議名称	愛西市地域ケア推進会議
開催日時	令和8年3月27日（金） 午後2時00分から午後3時30分
開催場所	愛西市役所北館3階 災害対策本部兼会議室1・2
出席委員	平澤秋子 三和田篤 田中まさみ 山内嘉丈 堀田宗一 佐藤和子 日高由紀 鷺野明美 辻裕子 東元子 栗畑由紀夫 日永正美
欠席委員	浅野弥生 青木弘光
事務局	保険福祉部長 田口貴敏、保険福祉部参事 青井優、高齢福祉課長 八木久美子、 高齢福祉課 猪飼隆善、城安代、浮貝将成、山田里子、保険年金課 堀田紫津子、 佐屋苑地域包括支援センター 水谷幸代、社協地域包括支援センター 渡辺秀 和、社協佐織地域包括支援センター 中野重利
協議事項等	会議内容 （1）地域課題（高齢者の支援をする担い手）について （2）その他
公開/非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人	なし
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 愛西市地域ケア推進会議名簿 ・ 資料1 1. 地域課題解決のための検討(第1回要約) ・ 資料2 2. 地域課題（高齢者の支援をするの担い手）解決のための検討 ・ 参考資料 協議体だより 自分の運転再確認してみませんか？ 令和7年度愛西市地域交流会

審 議 経 過

発言者	内 容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・傍聴人の報告
委員長	<p>委員長あいさつ それでは、次第に基づき議事を進行します。 議題（１）地域課題（高齢者の支援をする担い手）についての議事を進行します。 それでは資料１「１．地域課題解決のための検討（第１回要約）」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	資料１に基づき、事務局より説明。
委員長	<p>ただいま、事務局より説明がありました。 意見、質問等がありますか。 （意見なし） それでは資料２「２．地域課題（高齢者の支援をする担い手）解決のための検討」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	資料２に基づき、事務局より説明。
委員長	<p>それでは資料２について、今回は自助、互助の視点を中心にアイデアや具体策を検討していきたいと思います。まずは「個人でできること」の３つの解決案について意見、質問等がありますか。</p>
委 員	<p>ライフスタイルに合わせて参加することが非常に大事だと思います。継続的に行うためには無理なく行うことが必要であり、支援や活動の“みえる化”は、自分の空いている時間とマッチするボランティアを探すためにとても重要だと思います。“みえる化”と併せてリスク管理を行っていくことでボランティア参加のハードルを下げ、参加者が増えるのではないかと思います。</p>
委 員	<p>リスク管理の件については、現状の相談先としては生活支援コーディネーターや場合によっては地域包括支援センターがサポートをすることもあります。</p>
委員長	ボランティアが加入できる保険について教えていただけますか。
委 員	<p>ボランティア活動保険があります。１年で加入できる掛け捨てタイプの保険で、ボランティア活動をする人は加入していることが多いです。</p>
委 員	<p>ボランティア上のトラブルとして実際にあったことですが、ゴミ捨て支援で訪問したところ、持ち上げられないほどの重さのゴミ袋が置かれていたり、ゴミが分別されていなかったり、容易に捨てられない状況になっていました。１回のゴミ袋の数を決めて利用者に伝えたり、分別の支援をしたりするなど、ボランティアが負担なく行えるように、あらかじめ支援者が準備することも</p>

	<p>大事であると感じます。</p> <p>また、若い世代のことも考慮すると、SNS 発信はとても大事だと思います。例えば、サムネイル（※画像や動画、文書の内容をひと目で把握できるように縮小された見本画像のこと）で「愛西市」「ゴミ捨て」「ちょいボラ」「ボランティア」といったキーワードを出してボランティアを募集することや、「お褒まりないですか」「ゴミを持っていきますね」などと利用者に声を掛けてボランティアを行う様子を動画にして掲載するという方法もあると思います。</p>
委員	<p>日頃からの近所付き合いはとても大切であると考えています。全く知らない人より、少し顔見知りの間柄で支えていくほうが地域の中ではやり易いと思います。また、具体策としての地域のサロンや老人クラブに声を掛けて行うイベント開催も良い案だと思います。イベントを開催するのであれば周知啓発の段階で地域の人たちに意見をいただき、情報が広まりやすい方法を考えていければ良いと思います。</p> <p>高齢者には SNS よりも口コミのほうが広まりやすいと思います。</p>
委員長	<p>SNS ではなく口コミでの周知が非常に有効な場合もあります。また、地域での話し合いのもと行っていくといった、地域性や個別性を生かした支援が必要であるという発言をいただきました。</p> <p>この、近所付き合いの項目に関し、協議体主催でのイベント開催について状況を教えていただけますか。</p>
委員	<p>（「協議体だより」より説明）佐織地区には、家からあまり出かけない人たちに少しでも外に出るきっかけとなるように、地区内のコミュニティセンターでイベントを行っています。資料のイベント「音楽鑑賞会」では、民生委員、老人クラブ、サロンの人たちから一人暮らしの人や知り合いの人に声を掛けていただきました。イベントの内容は協議体などと相談し、レコード鑑賞を行いました。その他にもモルック（スポーツ）を行うイベントを開催し、いずれのイベントにおいても40名ほど参加がありました。参加者には「普段一人で食事をしているから寂しい」「皆さんと食事ができて嬉しかった」といった声をいただきました。佐織地区は横のつながりが希薄になっている地域もあるので、地域の人たちが繋がり、交流のきっかけになったと思います。</p>
委員長	<p>地域の担い手になることに興味を持つことについては意見ありますか。</p>
委員	<p>協議体の資料にある「地域交流フェス2025」の開催前に、清林館高校の学生にボランティアの声掛けをしたところ、20名参加していただきました。事後アンケートを行ったところ、「地域の方とたくさん交流ができた」「地域についてより深く理解することができた」という感想をいただき、今後ボランティアに参加したいと思いますかという問いにはほぼ皆さんが「また参加したい」と回答していただきました。若い世代のボランティア活動への関心のきっかけになったと感じています。</p>
委員長	<p>きっかけがとても大事だということですね。</p>

	他にどんな企画であれば地域の担い手になることに興味を持ってもらえるか意見はありますか。
委員	参加して楽しいと思える企画や、役に立っていると実感できる体験型の企画が良いと思います。また、若い世代のボランティアの機会を増やすことはこれから本当に必要なことだと感じています。また、SNSの活用はとても大事だと思いますし、若い世代のボランティア体験も大事ですが、その他にSNSの専用アカウントを作り、地元の学生にそれを運用してもらったり、取材してもらおうと良いと思います。若い世代がボランティアに触れ合う機会もできますし、保護者や祖父母など家族からの協力も期待でき、相乗効果になると思います。
委員	具体策にあるボランティアを「体験する」ということは良い意見だと思います。体験から「また次も」とつながっていけると良いので、プレッシャーにならないように声掛けができると良いと思います。“ボランティア”“担い手”というと、若い人は言葉の響きに荷が重いと感ずるかもしれません。もっと気軽なフレーズでの募集が必要だと思います。また、体験した時の気持ちを丁寧に聞いていくことも大事であると感じました。
委員長	支援や活動の“みえる化”について、意見が他にあればお願いします。
委員	“みえる化”して、どう発信していくかということだと思います。いつ、どこで、誰が、を“みえる化”の中に盛り込んでいくと良いと感じました。
委員長	ありがとうございます。個人でできることについてその他に意見があればお願いします。
委員	ボランティアの登録はどこが窓口になるのですか。
委員	愛西市社会福祉協議会にボランティアセンターが設置されており、登録窓口になっています。ボランティアセンターの新しいチラシができたので各施設等に設置したいと考えています。
委員長	様々な意見をありがとうございました。 続きまして「地域、事業所の取り組みでできること」について意見ををお願いします。
委員	「担い手やボランティアについて幅広い世代の人に知ってもらう」ことに関し、立田地区について申し上げますと、農地を持っていらっしゃる人が非常に多く、その関係の集まりや老人会で、ボランティアの説明をして勧誘します。特に必要なのは勧誘、つまり知り合いに声を掛けることだと思います。SNSでの方法もありますが、世代によっては直接勧誘をしてボランティア現場まで来ていただいて体験していただくと良いと思います。地道な勧誘が必要であると思います。
委員	事業所はお祭りやイベントを行うので、その時に先ほどの新しいチラシを配布すると良いと思います。
委員長	機会を捉えた周知が大事ですね。

	次に、「情報周知や依頼しやすい体制を作ること」の具体策について、「ケアマネオンラインサロンで担い手に関する情報を伝える」、とありますが、詳しくお聞かせいただけますか。
委員	既に行われているオンラインサロンの場で、公的サービスにつなげられない困りごとについて、ボランティアにつなぐ方法があるということを知ってもらうことが必要であると思います。実際、生活支援については、生活支援コーディネーターやボランティア団体に依頼できることを知っていただける機会を作ると良いと思います。また、老人クラブのほうでも友愛活動の一環として、暮らしの支え合いを実際に行っている地域があります。例えばゴミ出しに大変な思いをしている人を老人クラブのほうで把握して支援しているとか、電球交換程度は地域で支援してもらえているなど、地域で密に交流できているところもありますので、そういった実例をオンラインサロンで周知していくことができるのではないかと思います。
委員長	ケアマネジャー等への情報提供について他に意見はありますか。
委員	以前に、利用者の家族からボランティアの冊子をいただいたことがありました。写真付きでカラーのもので、そのようなものがあるのを知りませんでしたので、ケアマネジャーに配れると良いと思いました。
委員長	ケアマネジャーや事業所の皆さんは高齢者を中心とした人たちの生活に密に関わる立場ですので、ケアマネジャーや事業所の皆さんに情報を伝えていただくことで、ボランティアを必要としている人が利用でき、やりたい人が活動できる場が作られていく、そういった広がりが出てくるのではないかと感じます。 次に、シルバー人材センターについて事務局から補足をお願いしたいと思います。
事務局	シルバー人材センターについて補足させていただきます。 依頼のほとんどは草木の剪定や除草、もしくは施設の清掃等が多く、家事福祉援助サービスの依頼は年に2、3件と少ないのですが、増やすための周知方法の工夫以外にも、受託するためには会員の意向も考慮しなければならず、特に生活支援の依頼についてはすべてがマッチングできるとは限らないという現状です。また、先ほどゴミ出しの話がありましたので日々のゴミ出しについても補足しますと、1回1,000円程度の費用がかかるそうです。費用面についても課題があります。
委員長	次に、募集方法を改善することについて検討したいと思います。まずは、この地域の事業所として可能な募集方法等について意見をいただければと思います。
委員	事業所の車に職員募集と掲示されていることがよくありますが、同様の方法でボランティアを募集していくと良いと思います。また、Xやホームページで募集することも良いと思いますが、SNS等が得意でない人もいると思うのでチ

	<p>ラシを出して募集することも必要だと思います。先ほどのお話を聞いていて、ボランティアセンターに依頼することもできると思いました。</p>
委員	<p>地域交流として施設が開催する祭りなどのイベントで発信することができます。また、利用者や患者の家族については、高齢者や認知症の人と関わる当事者でもありますので、支援を必要とする人の状況がわかってもらいやすいと思います。このため、各施設が家族を介して地域へ発信するというのも、より伝わりやすい方法ではないかと思います。</p>
委員	<p>ケアマネジャーや介護サービス事業所に担い手に興味がある人に声掛けをしてもらうという案はその通りだと思います。何が優先的に必要な支援であるかがわかっているとより良いので、チラシなどを用意して声を掛けてもらうと良いと思います。</p> <p>声を掛けてもらう依頼については、全事業所に依頼する方法もありますが、生活支援コーディネーターがピンポイントで事業所等に依頼することが、チラシを受け取るとともに、詳しい情報を受け取れるので良いと思います。</p>
委員長	<p>ここまでで「個人でできること」や「地域、事業所の取り組みでできること」について意見をいただきましたが他には意見ありますか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>準備部会で出していただいた具体案をもとに、様々な意見をいただくことができました。これから具体化していけると良いですね。</p> <p>続きまして、「公的サービス化、制度化の検討が必要なこと」については、第1回の会議での委員さんの意見をもとに、準備部会で検討していただいた具体策として、サービスの実績を集計し地域ごとに数を把握するとか、具体的な目標を設定するといったことを出していただいておりますが、これに関して意見はありますか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>本日は貴重な意見をありがとうございました。</p> <p>今後はそれぞれのお立場で協力していただければと思います。</p> <p>続きまして、議題（2）その他について事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>昨年の地域ケア推進会議の地域課題「移動支援」についての取り組みの状況と地域交流会開催について事務局より説明。</p>
委員長	<p>事務局からの説明に対して意見や質問はありますか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>委員の皆様、ありがとうございました。それでは進行を事務局へ戻します。</p>
事務局	<p>長時間に渡りましてご意見等いただきましてありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして本日の会議を終了いたします。</p>